

令和7年産大豆技術情報 第2報

ミナミアオカメムシが増加しています！適期防除を！

👉現在の大豆の生育

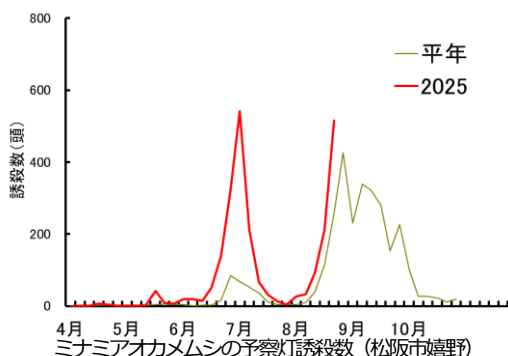
- ◆6月中下旬播種の「サチユタカA1号」は8月上旬から、7月中旬播種の「フクユタカ」は8月下旬から、開花期を迎えています。

👉ミナミアオカメムシに注意！

- ◆ミナミアオカメムシが大豆圃場で増加しています（三重県病害虫防除所の病害虫技術情報第9号）。
- ◆莢伸長期（開花 20 日後）と子実肥大期（開花 40 日後）の2回防除を実施しましょう。



ミナミアオカメムシ（左：幼虫、右：成虫）



（参考）三重県農業研究所 研究成果情報（吸食性カメムシ類の防除）

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000897247.pdf>

（参考）三重県病害虫防除所 技術情報（吸食性カメムシ類）

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001214640.pdf>



農業研究所
成果情報



病害虫防除所
技術情報

👉紫斑病の防除も忘れずに！

- ◆紫斑病の防除を行いましょう。防除適期は、開花後小さい莢がつくようになった頃（開花後2週間頃）です。10日おきに2～3回実施しましょう。



紫斑病の病徴（葉）



紫斑病の病徴（子実）

令和7年 8月 29日

三重県産大豆生産振興対策会議